

第2章 世界から見た日本の姿

1節 世界から見た日本の自然環境

教科書 p 142～155

教科書 p 142-143

1 世界の地形

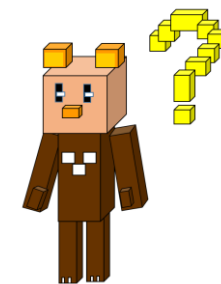
造山帯（ぞうざんたい）

・世界には、地震の震源や火山が帯のように連なって分布する場所があります。このような場所では、陸地に標高が高い山脈が見られ、海洋には点々と島が並んでいる。このような場所を**造山帯**という。

考えてみよう！

日本で地震や火山の噴火が多いのはなぜ？

◎教科書 p 143 『4 主な地震の震源と火山の分布』の分布図を見て，日本が位置しているのはどのような場所だろうか。



日本のおもな山

山名	所在地	高さ (m)
富士山	？	3776
北岳（白根山）	山梨	3193
穂高岳（奥穂高）	長野・岐阜	3190
御嶽山	長野・岐阜	3067
箱根山	神奈川	1438
石鎚山（天狗岳）	愛媛	1982
大山	鳥取	1729
阿蘇山	熊本	1592

問題①
富士山は何
県にあるか
な？



答え

山梨・静岡

ちなみに世界のおもな山は・・・

山名	所在地	高さ (m)
エベレスト山	ヒマラヤ山脈（アジア）	8848
モンブラン山	アルプス山脈（ヨーロッパ）	4810
キリマンジャロ山	タンザニア（アフリカ）	5895
デナリ（マッキンリー）山	アラスカ山脈（北アメリカ）	6191
アコンカグア山	アンデス山脈（南アメリカ）	6959
ジャヤ峰	ニューギニア島（オセアニア）	4884
ビンソンマッシーフ	南極大陸	4897

教科書 p 144-145

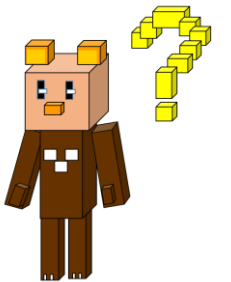
2 日本の山地と海岸

フォッサマグナ

- ・ 日本列島の本州の中央にある，地質構造上，東北日本と西南日本をわける地帯。フォッサマグナは，日本列島を分ける2つのプレートの境界と考えられている。フォッサマグナという名称は，ラテン語で「大きな溝」という意味。

考えてみよう！

フォッサマグナを境に西と東の
地形にはどのような違いがある
だろうか？



〔フォッサマグナの西側〕

紀伊，中国，四国といった山地がほぼ東西に連なっています。これらの山地や九州には標高が2000mをこえる高い山はありません。また，大阪平野や濃尾平野を除くと広い平野は少ない。

〔フォッサマグナの東側〕

ほぼ南北方向にのびる高く険しい山脈と，関東平野や越後平野をはじめとした，いくつもの平野が広がっています。

教科書 p 146-147

3 日本の川と平地

平野（へいや）

- ・ 海に面した低く平らな土地のこと。

十勝平野（北海道），仙台平野（宮城），関東平野，（千葉，東京，埼玉など），広島平野（広島），筑紫平野（福岡，佐賀）などがある。

盆地（ぼんち）

- ・内陸にあり周りを山に囲まれた平らな土地のこと。

山形盆地（山形），甲府盆地（山梨），会津盆地（福島），長野盆地（長野）京都盆地（京都），奈良盆地（奈良）など

扇状地（せんじょうち）

- ・川が山間部から平野や盆地に出た所に土砂がたまって造られる扇形の地形のこと。

三角州（さんかくす）

- ・川が海や大きな湖へ流れ込む所に造られる。川が運んできた細かい土砂で埋め立てられた地形のこと。

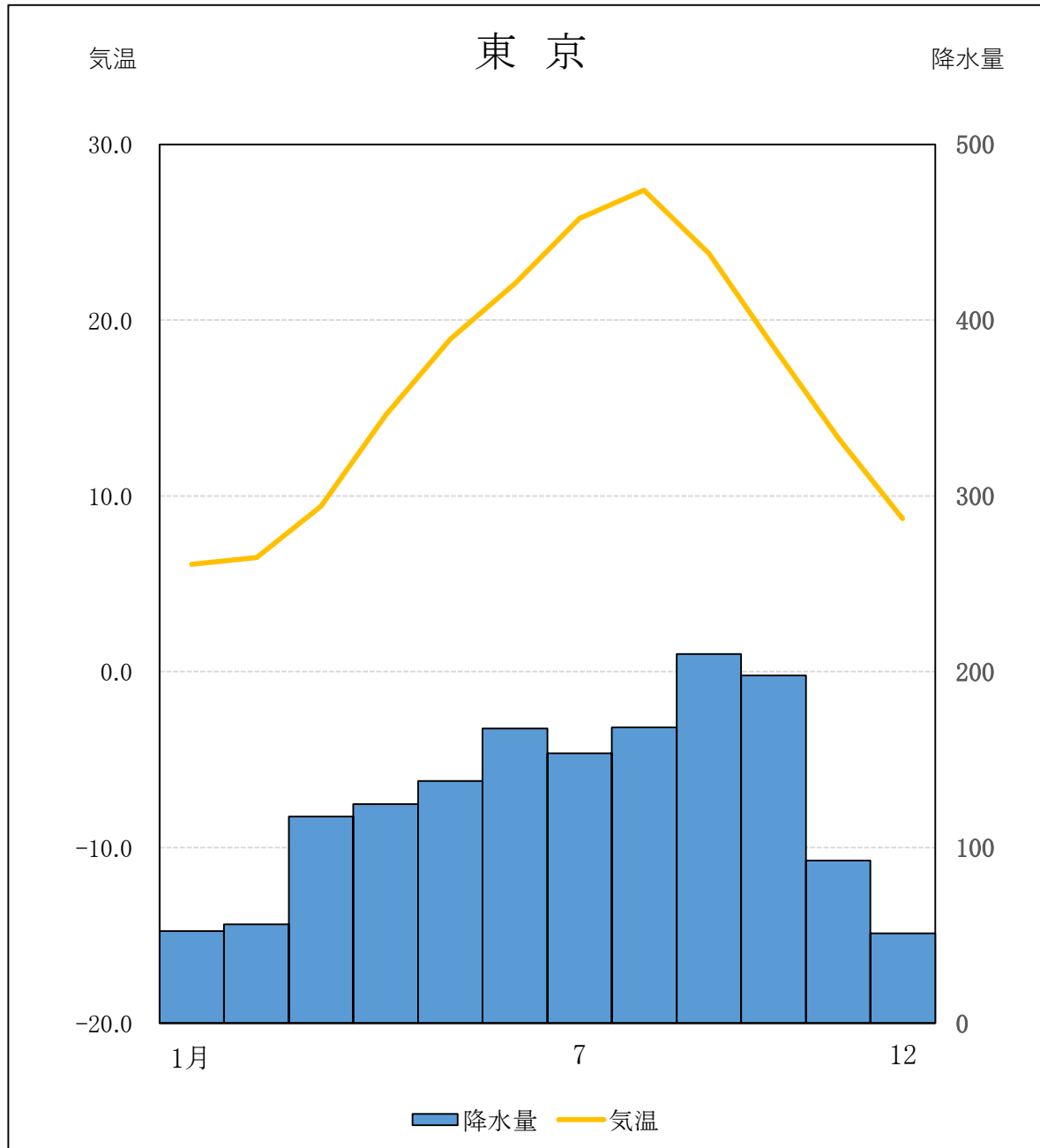
教科書 p 150-151

4 世界から見た日本の気候

太平洋側の気候

【特徴】

- ・ 冬に降水量が少なくなり、乾燥する。
- ・ 夏から秋にかけて降水量が多くなる。（ ? ）の影響を受けるため。



問題④
何の影響を受けるのかな？

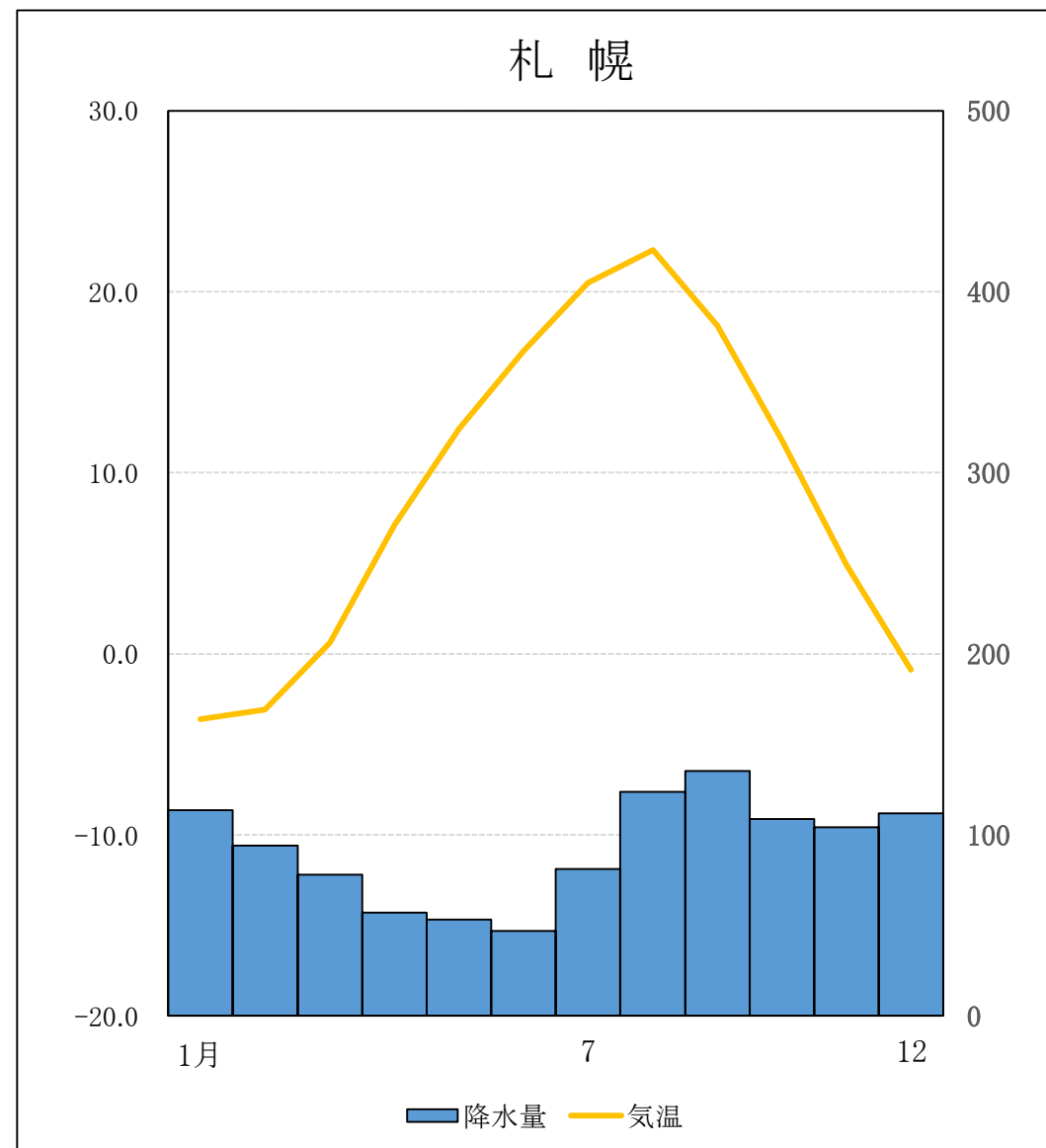
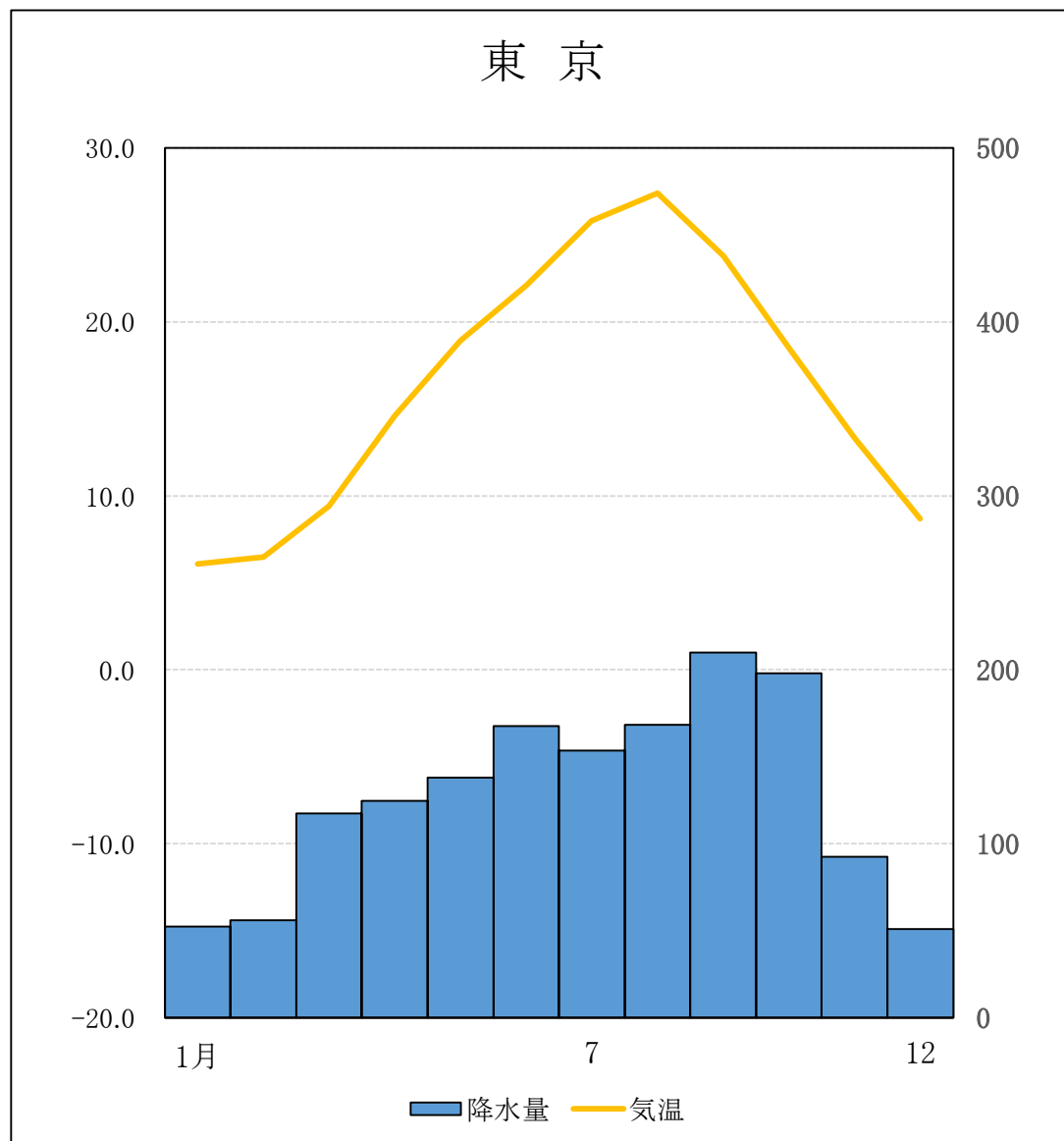


答え

台風の影響を受ける。

比べてみよう！

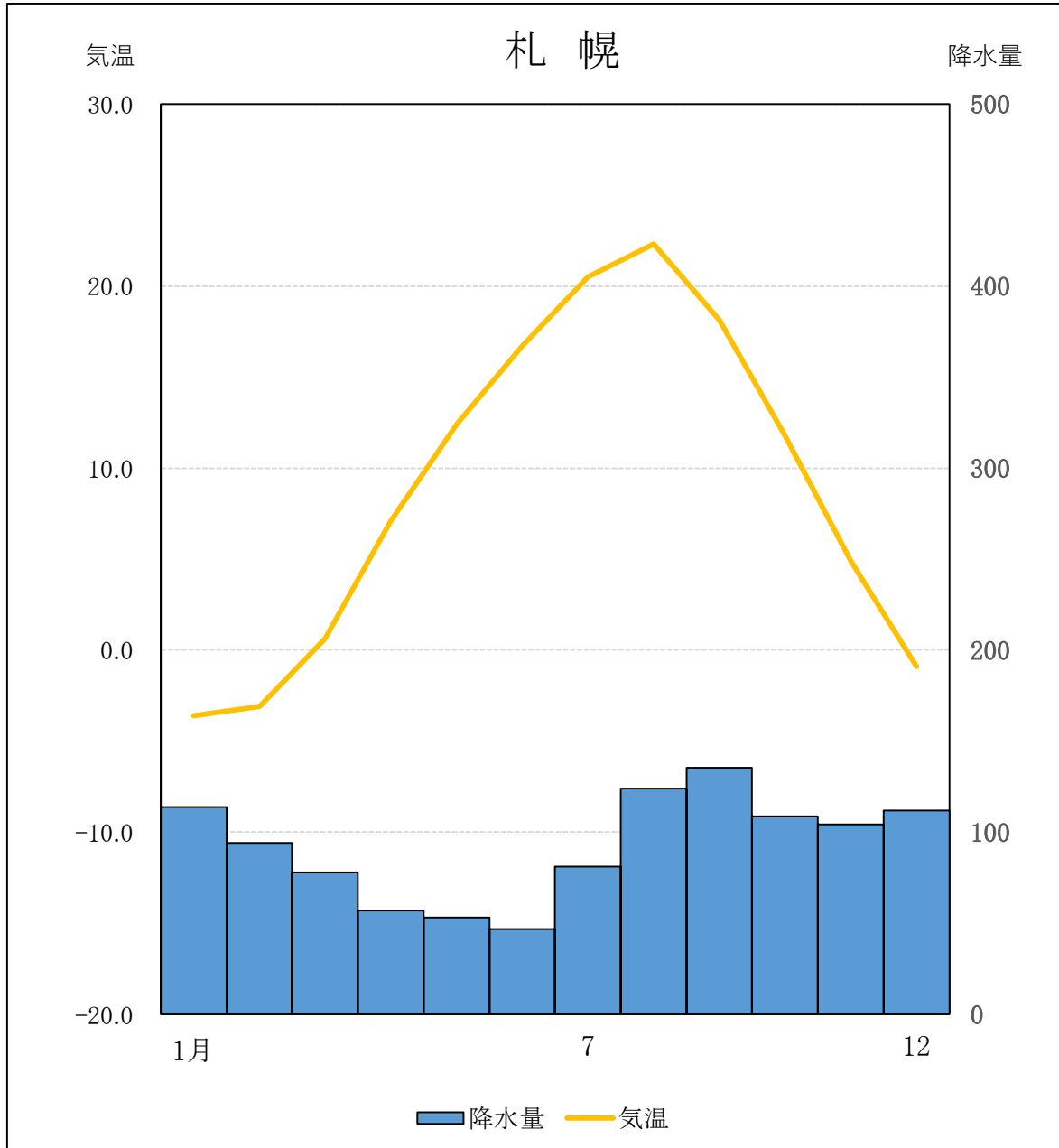
太平洋側の気候（東京）のグラフと比べて、
どのような違いがあるかな。



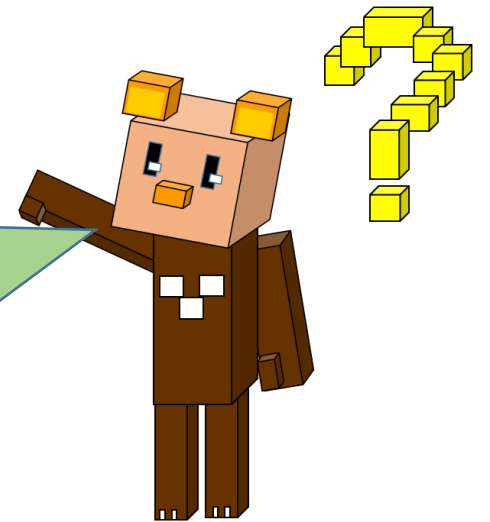
北海道の気候

【特徴】

- ・ 冬には月平均気温が 0°C を下回る。
- ・ 気候区分は（ ? ）帯となる。



問題②
北海道の気候
は何帯だった
かな？

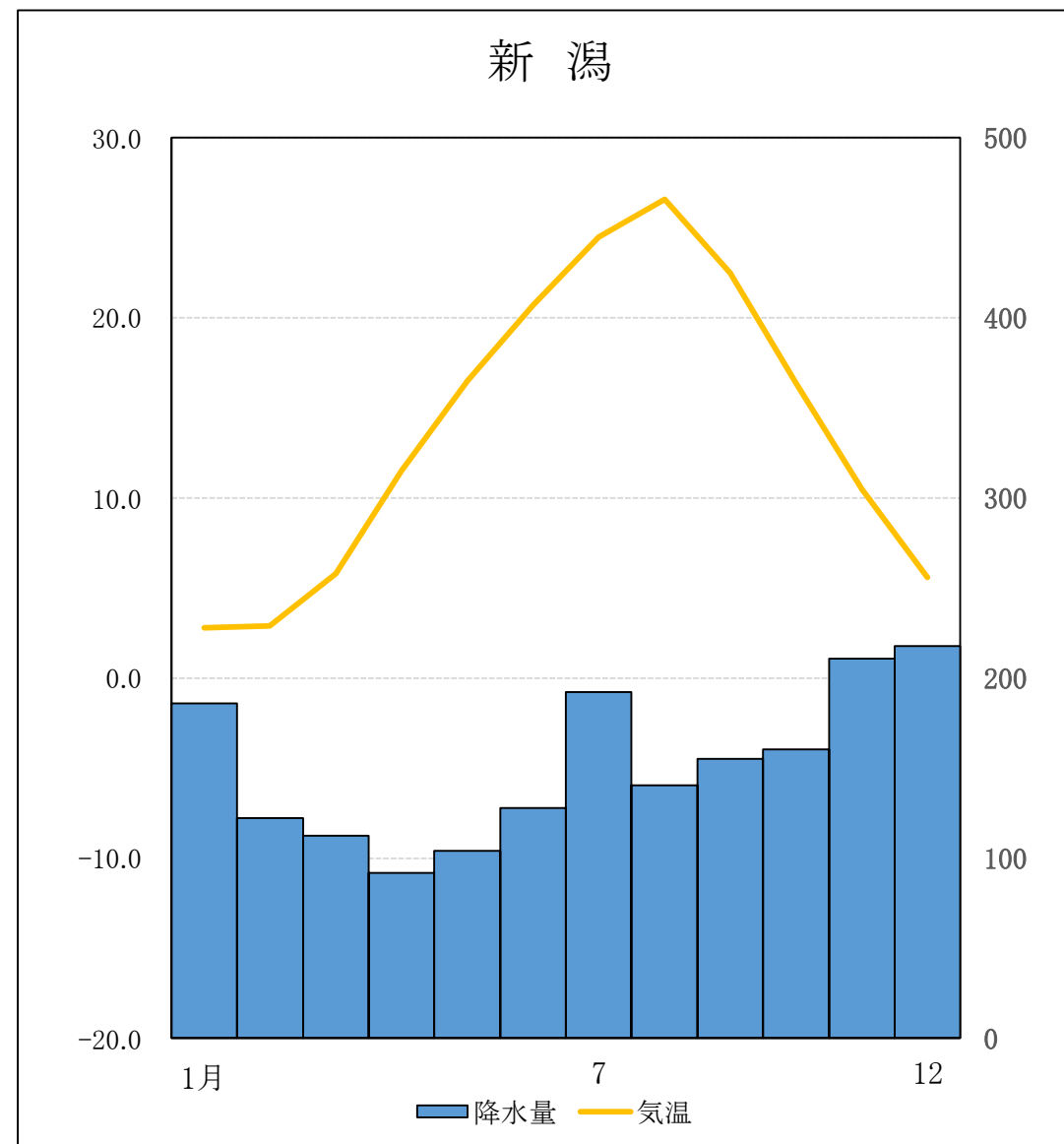
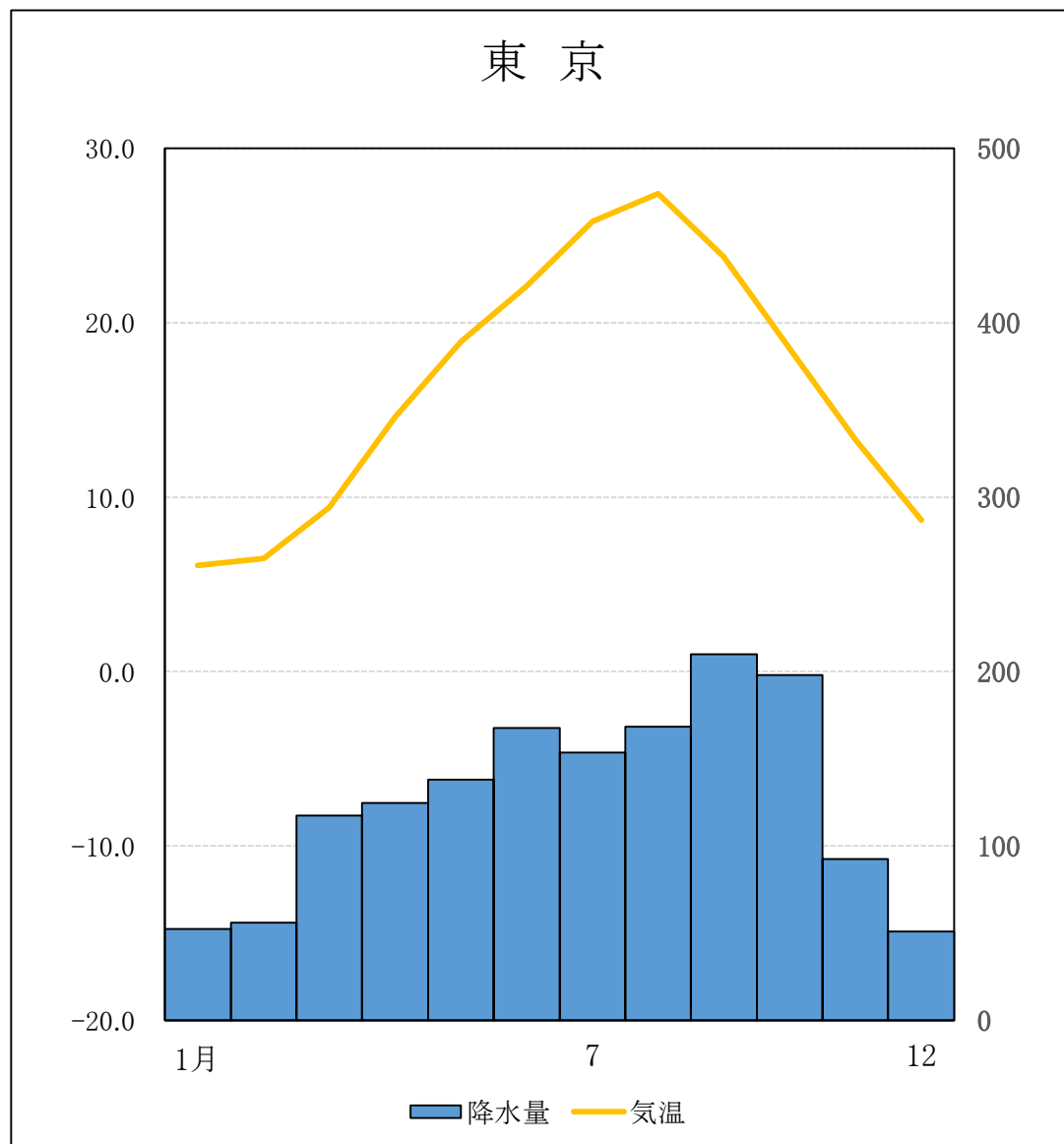


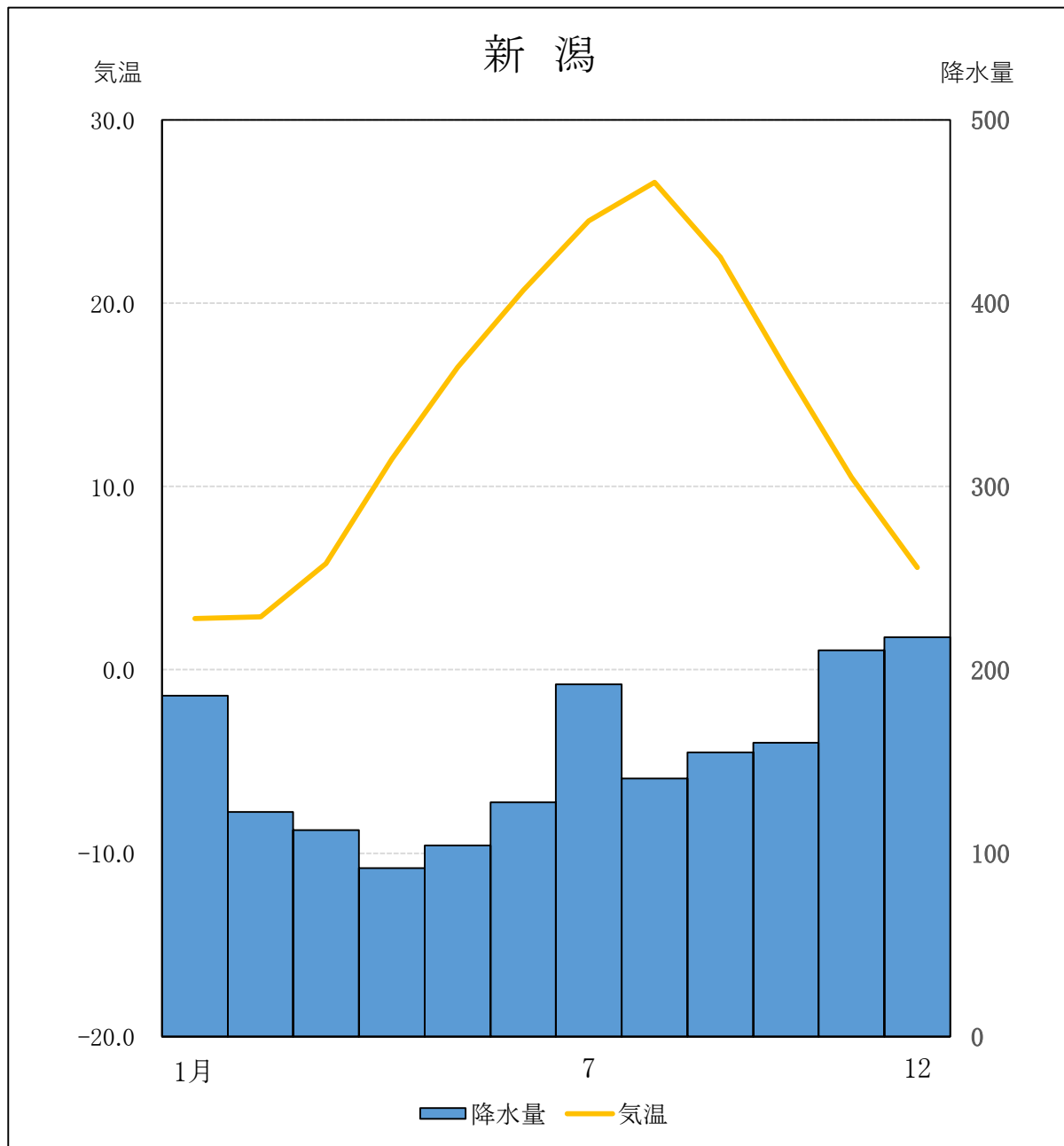
答え

冷帯（亜寒帯）

比べてみよう！

太平洋側の気候（東京）のグラフと比べて、
どのような違いがあるかな。





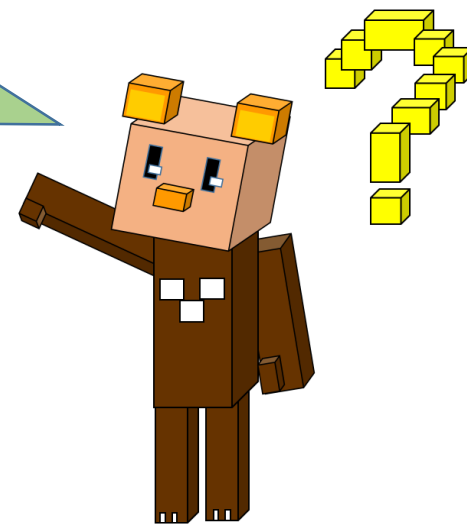
日本海側の気候

【特徴】

- ・ 冬に降水量が（ ? ）
なっている。

問題③

冬に降水量は
どうなる？

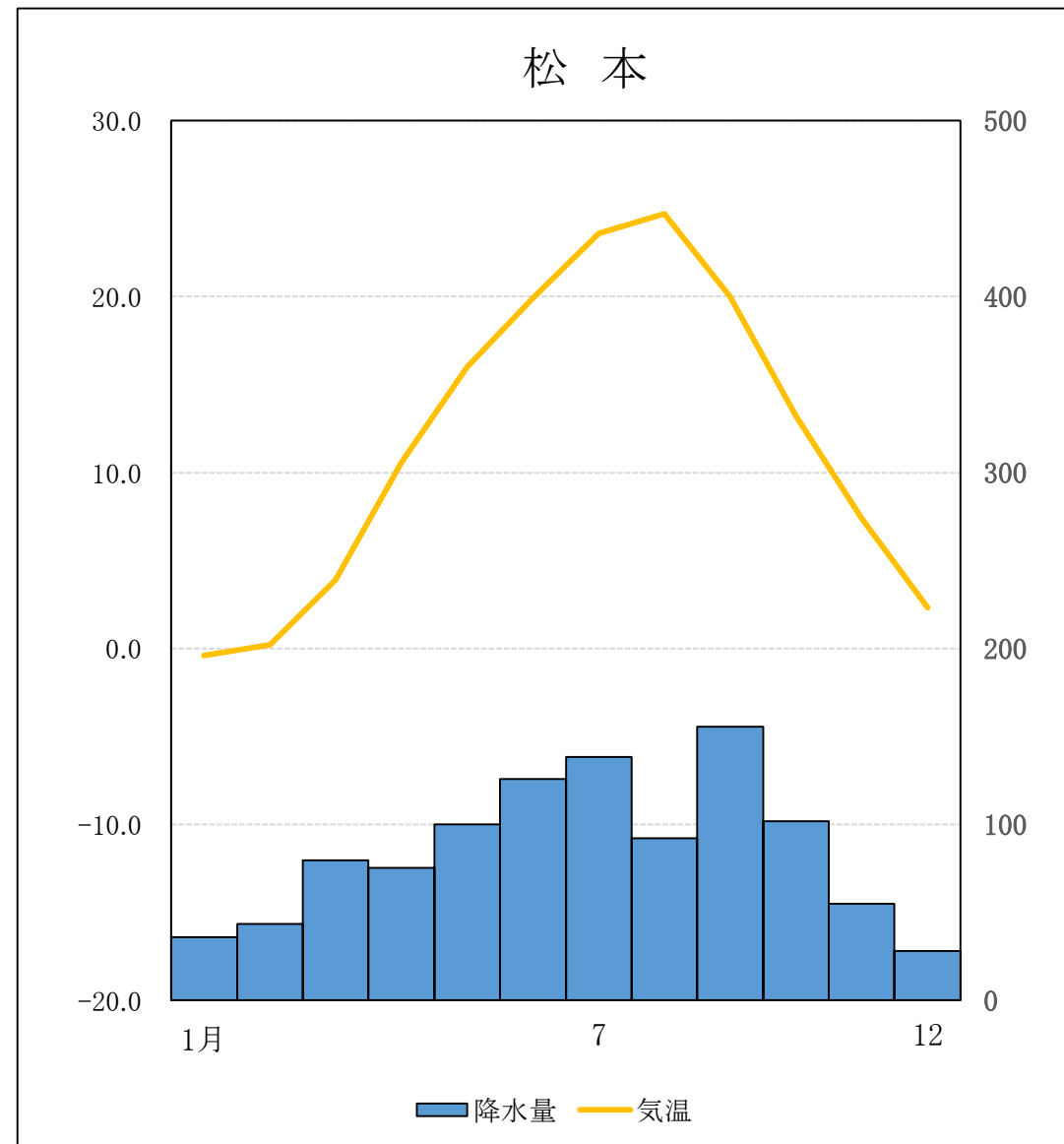
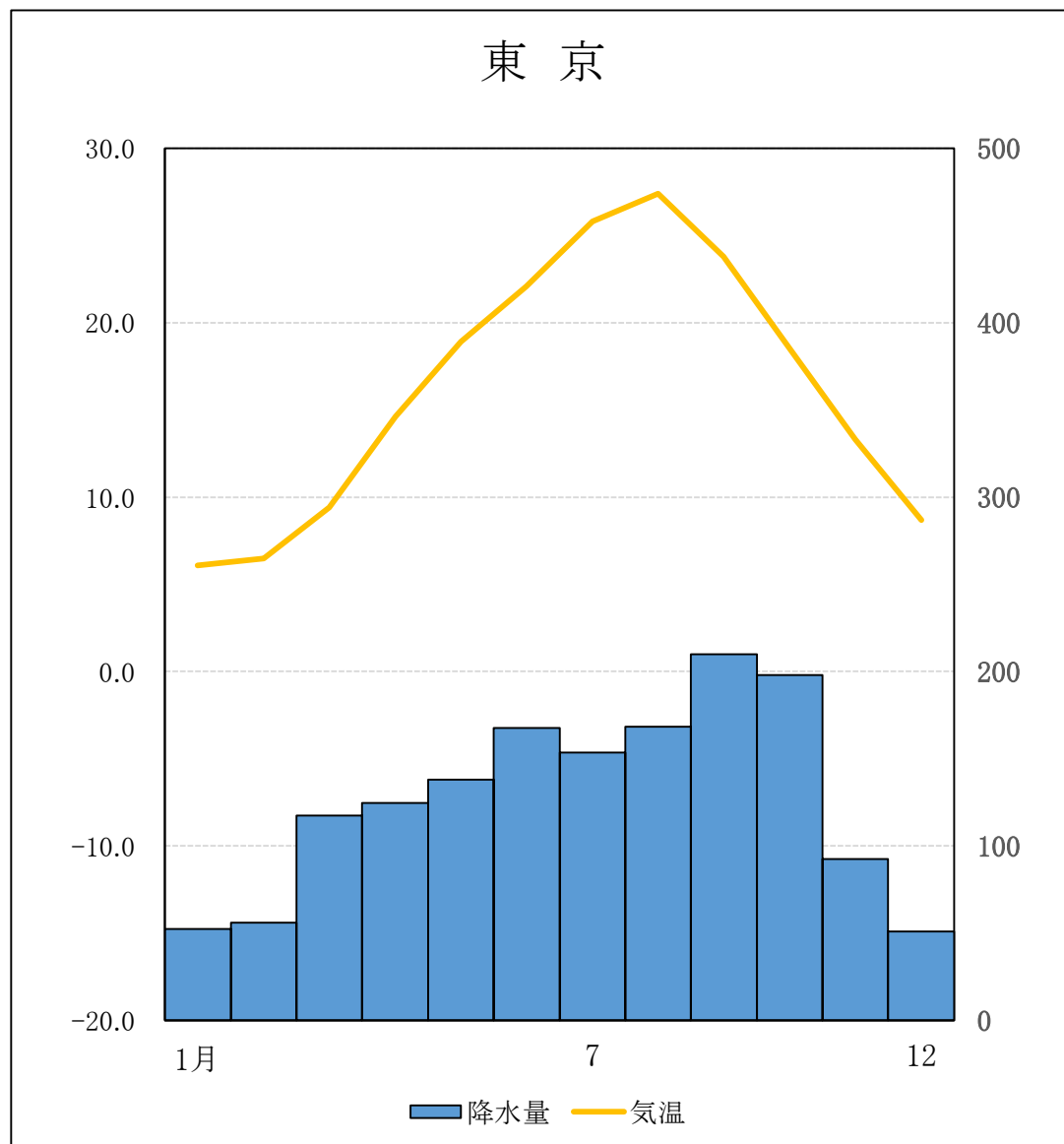


答え

冬に降水量が**多**くなる。

比べてみよう！

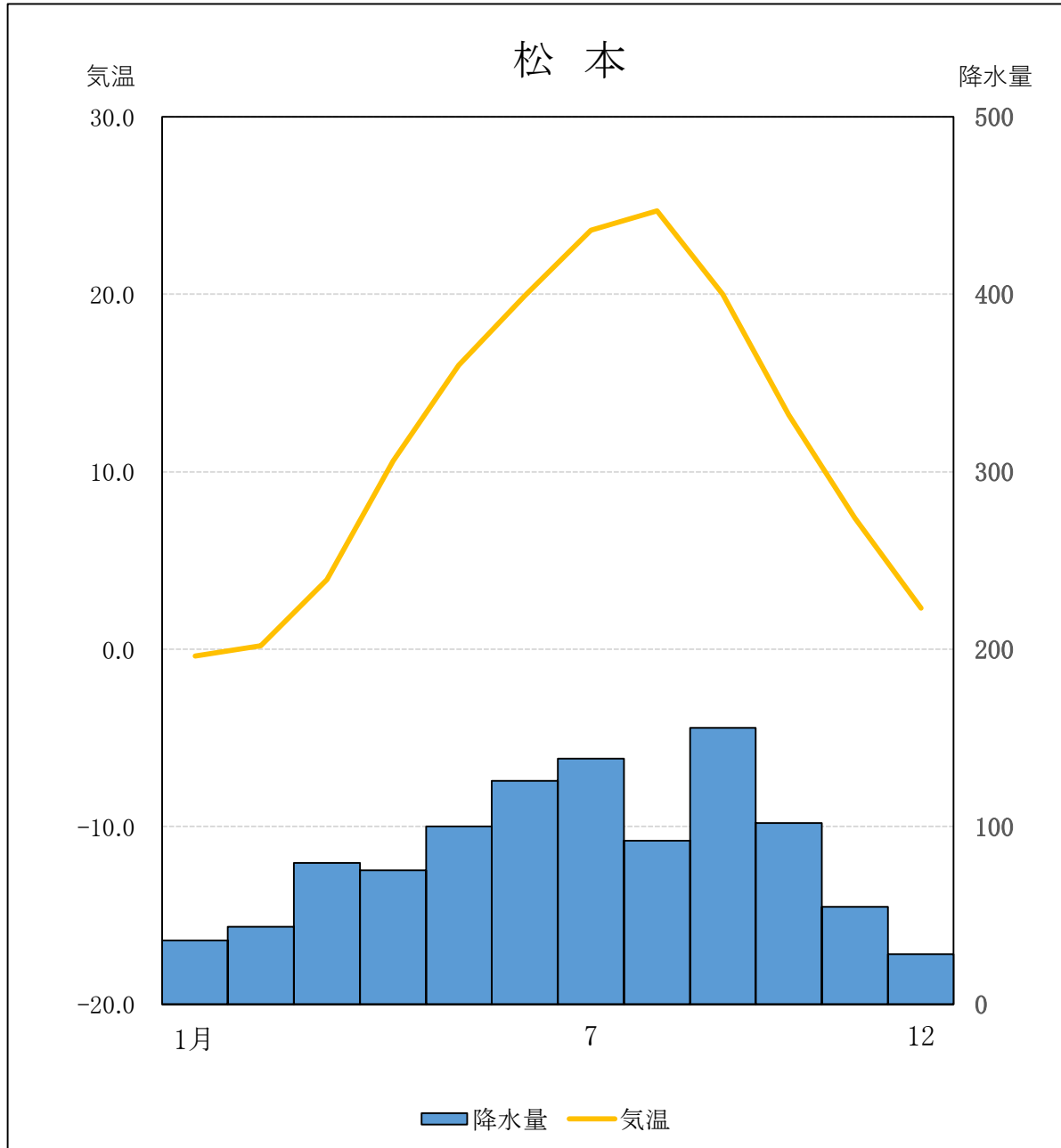
太平洋側の気候（東京）のグラフと比べて、
どのような違いがあるかな。



中央高地の気候

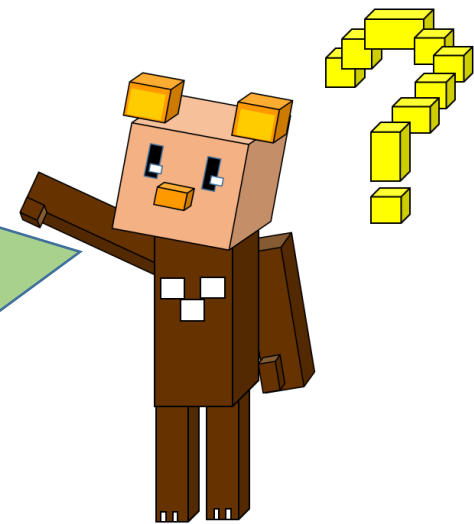
【特徴】

- ・ 標高が高くなると気温は（ ? ）なる。
- ・ 一年を通して降水量が（ ? ）い。



問題⑤

標高が高くなると
気温はどうなるか
な？また、降水量
はどうか？

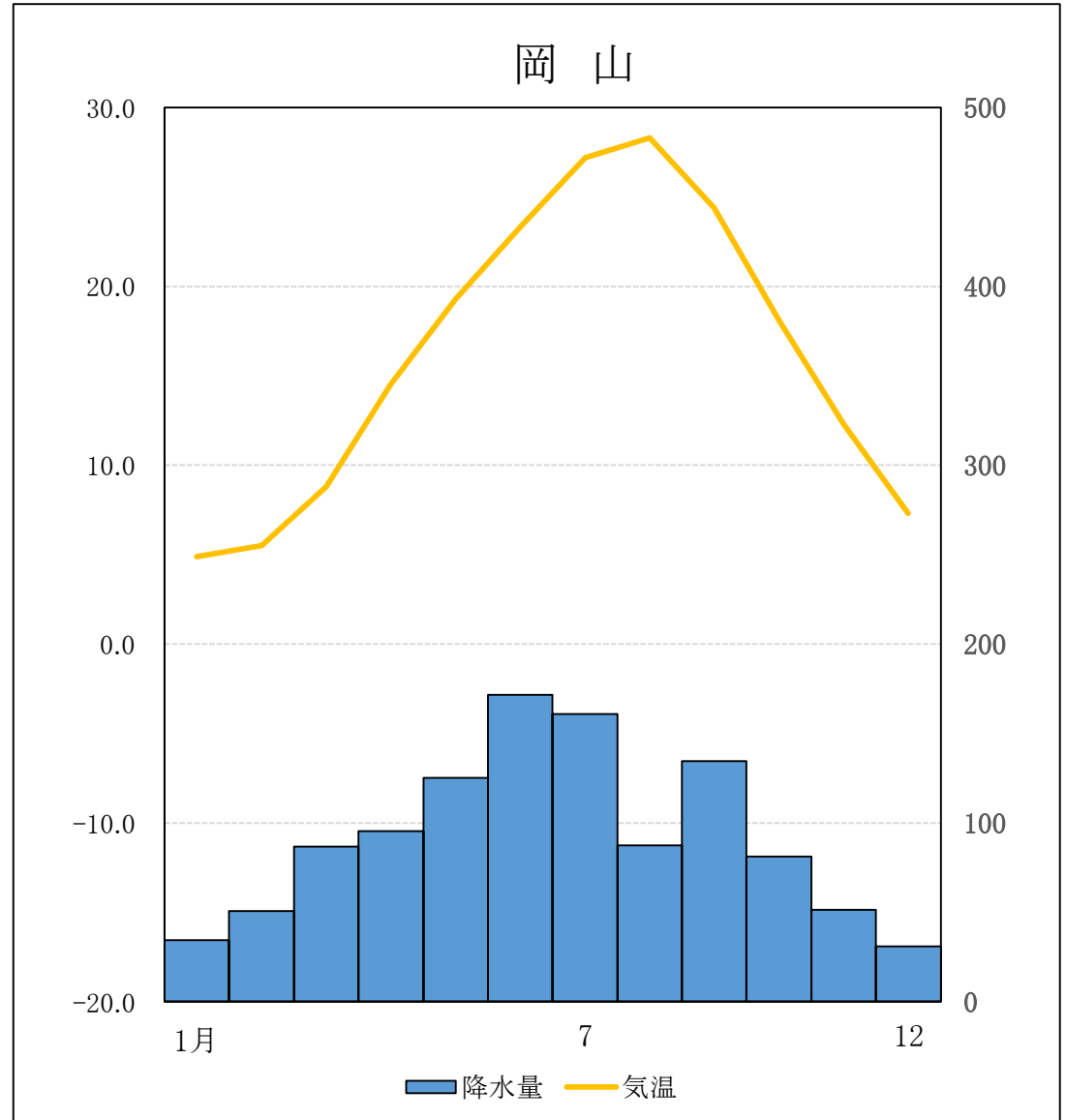
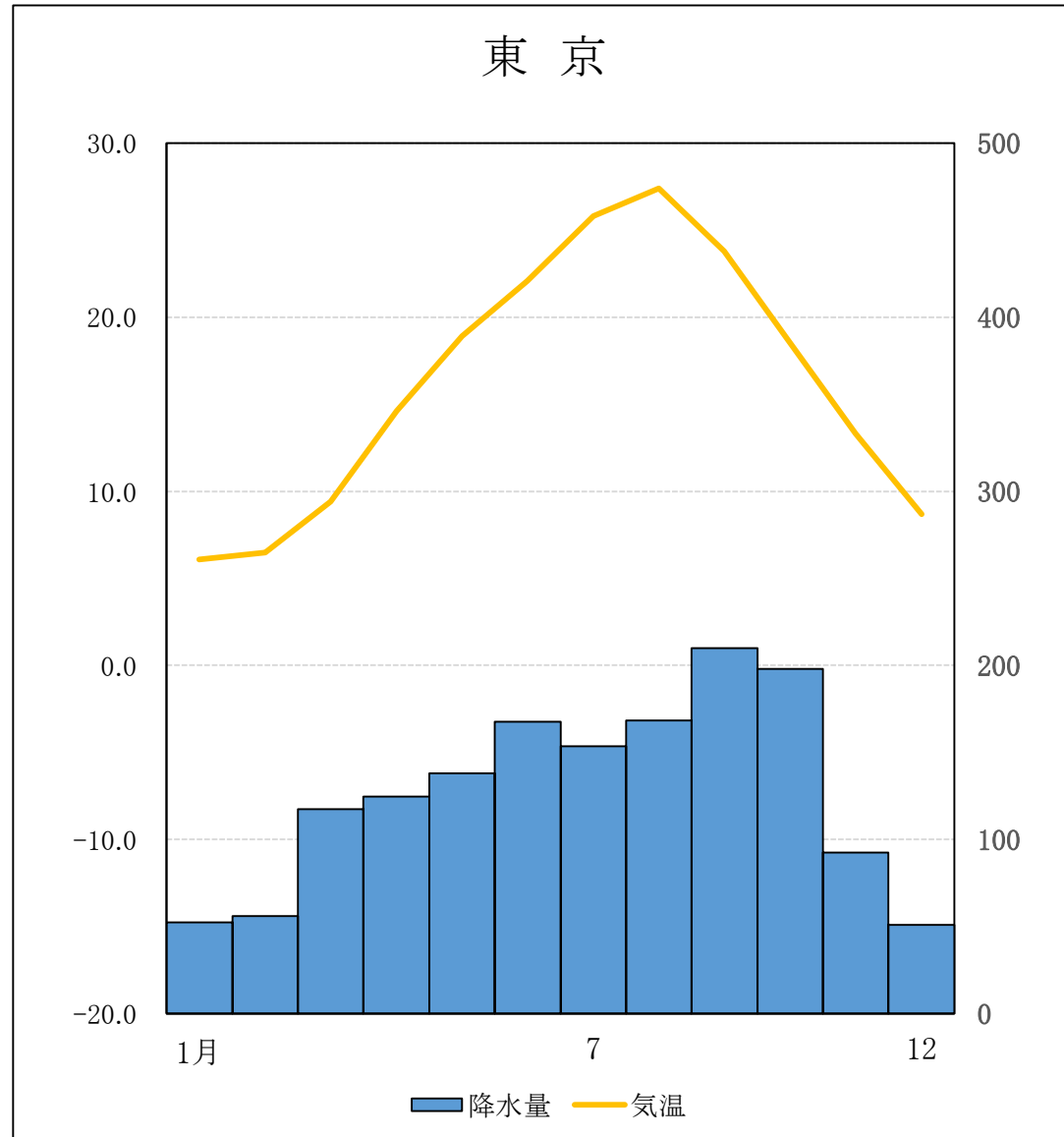


答え

標高が高くなると気温は
低くなる。一年を通して
降水量が**少ない**。

比べてみよう！

太平洋側の気候（東京）のグラフと比べて、
どのような違いがあるかな。

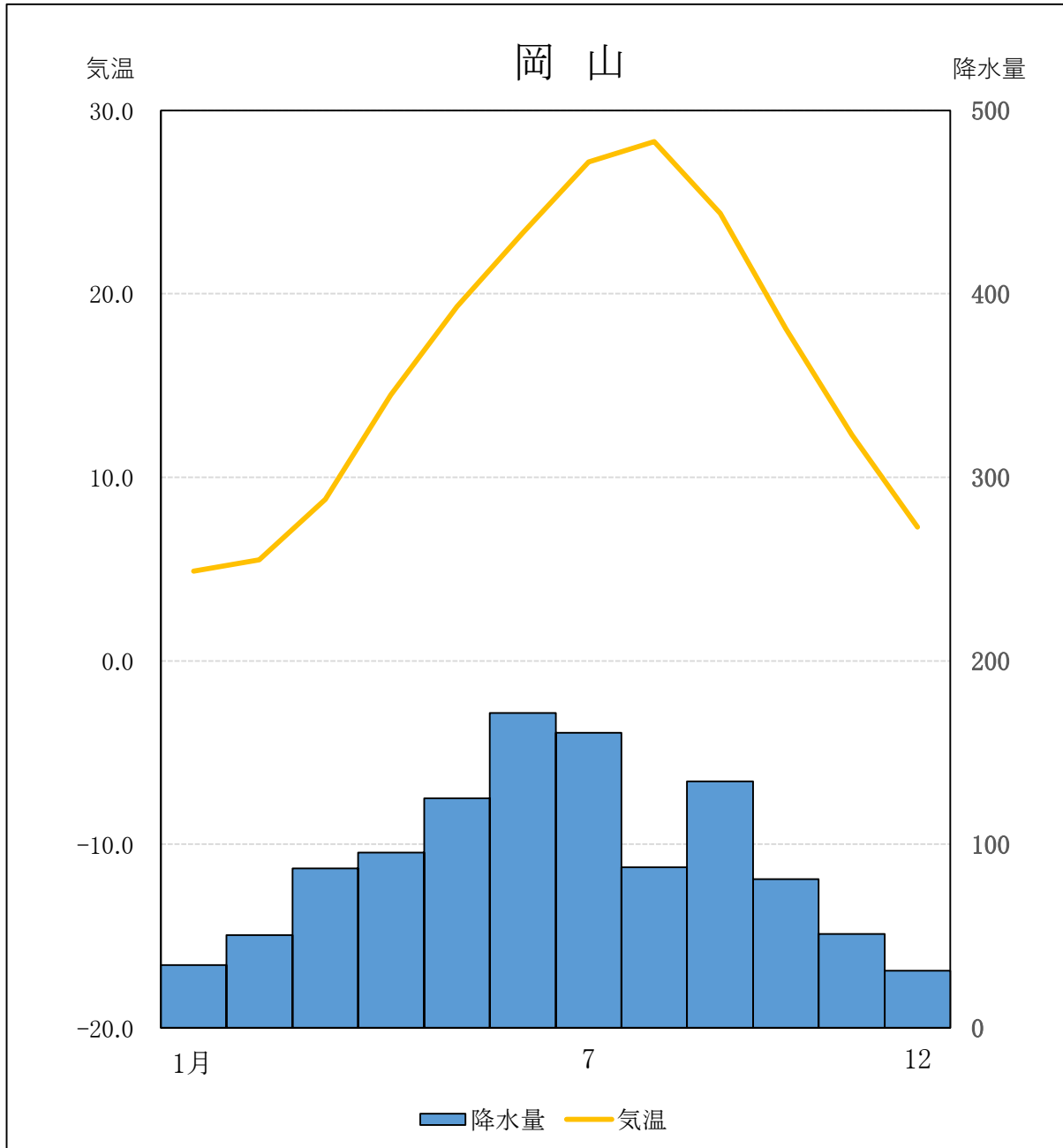
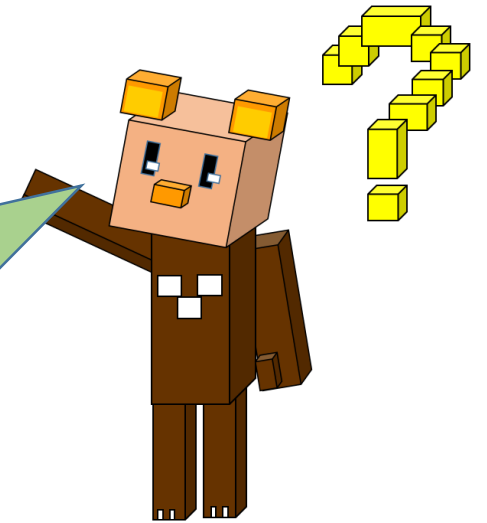


瀬戸内の気候

【特徴】

・気温は暖かく、一年を通して降水量が（ ? ）い。

問題⑥
降水量はどうなるかな？

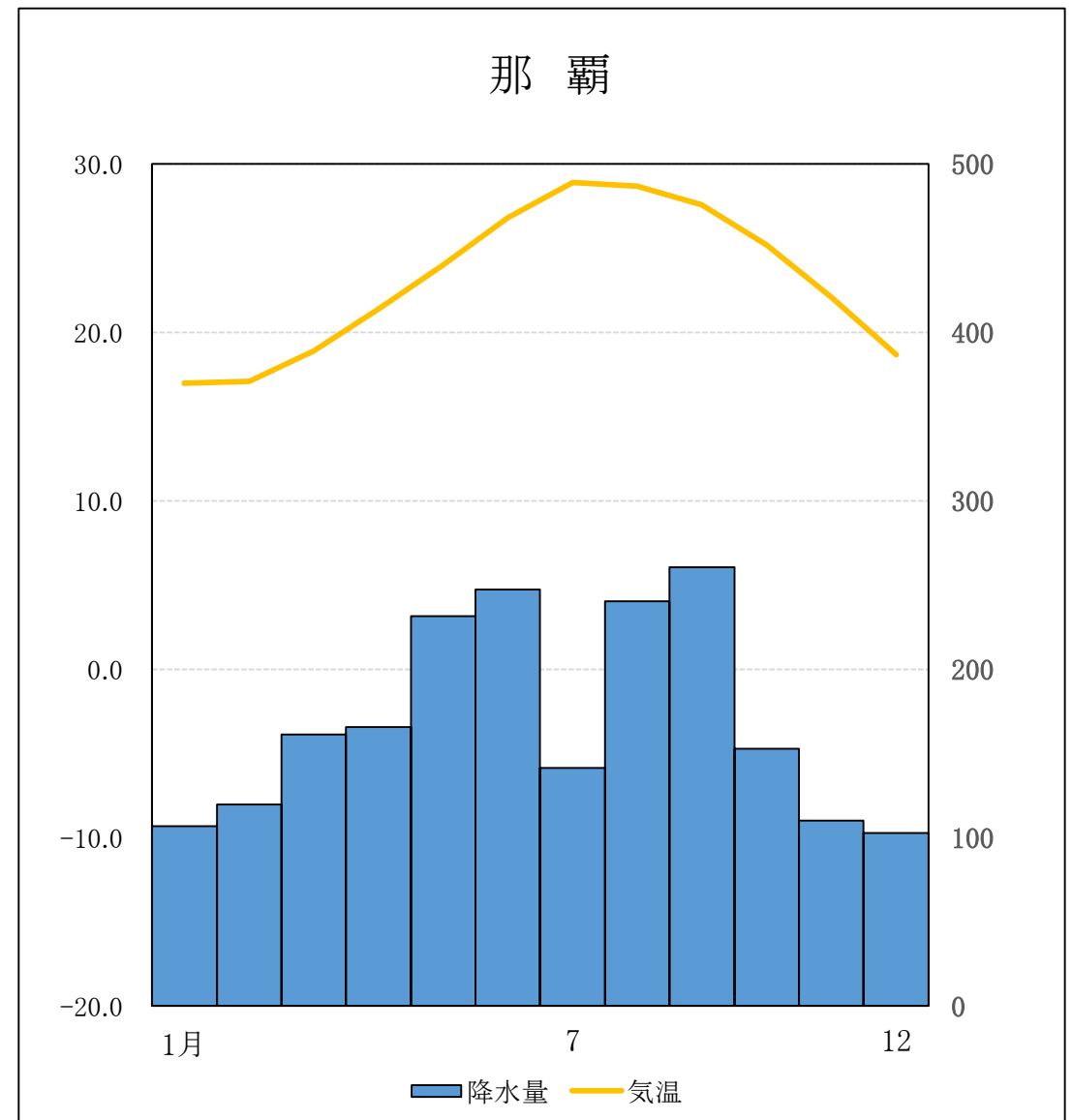
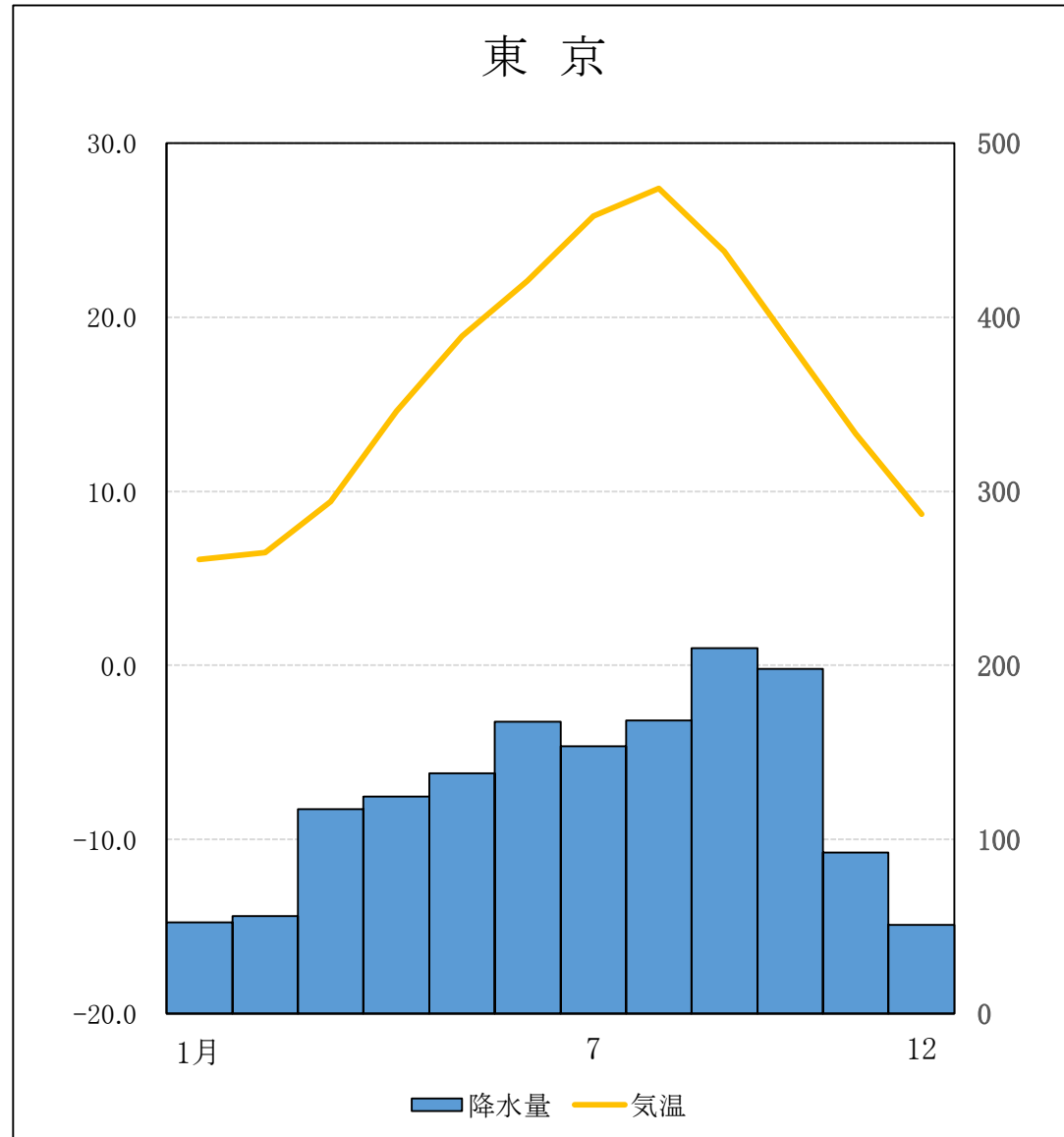


答え

一年を通して降水量が**少ない**。

比べてみよう！

太平洋側の気候（東京）のグラフと比べて、どのような違いがあるかな。

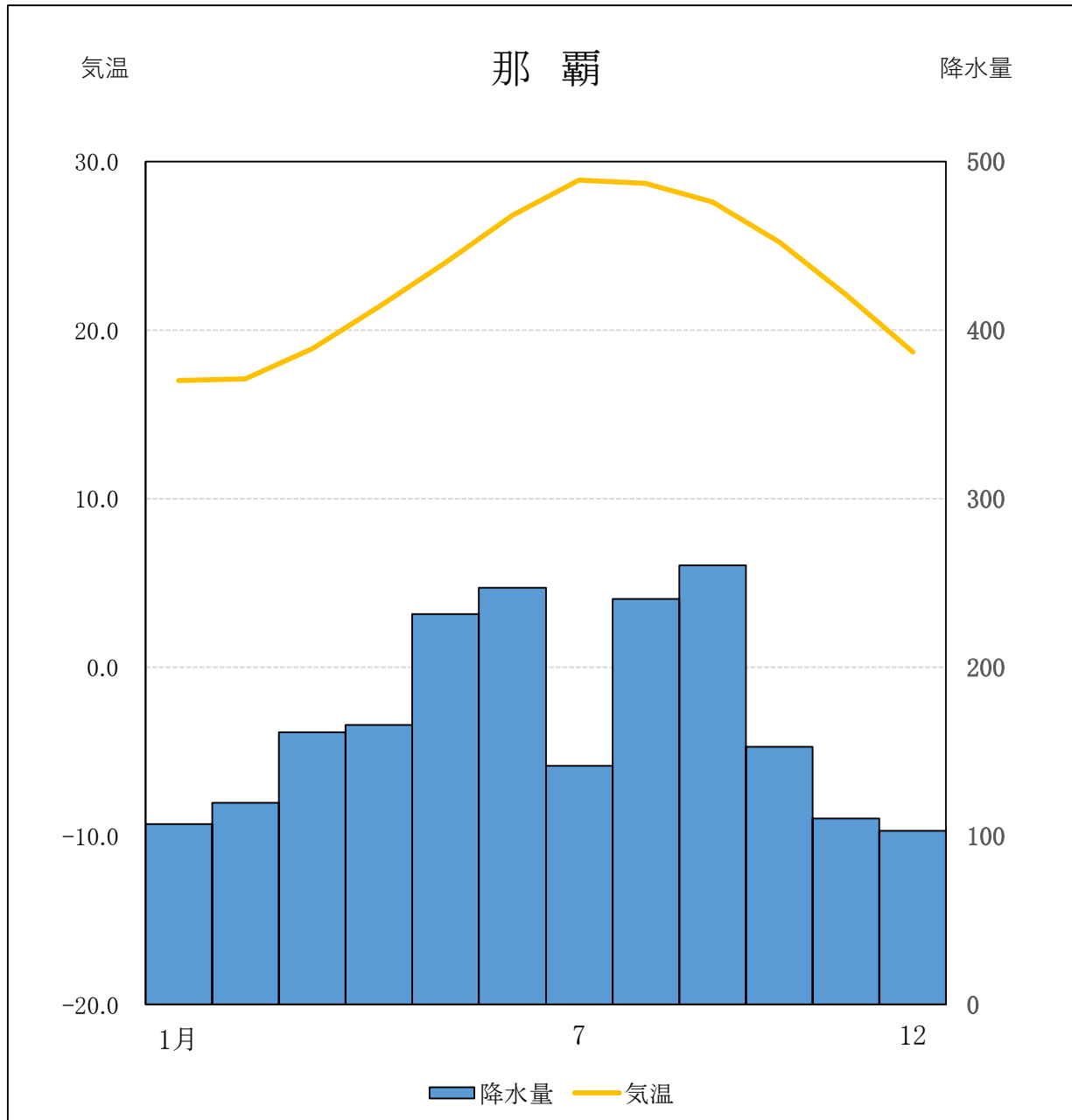


南西諸島の気候

【特徴】

- ・一年を通して暖かい。

那覇（沖縄）のように
一年を通して暖かく、
月平均気温が低い時で
も10℃を下回らない。

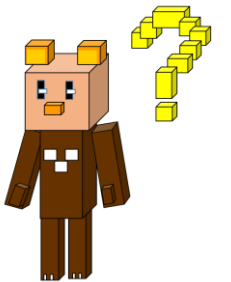


教科書 p 152-153

5 自然災害と防災への取り組み

考えてみよう！

これまでに学んだことを踏まえて，日本で起こる自然災害はどのようなものがあるのでしょうか。また，それらはなぜ日本で起こるのか。考えてみましょう。



〔日本で起こるいくつかの自然災害〕

地震，津波，火山の噴火，洪水，土石流など

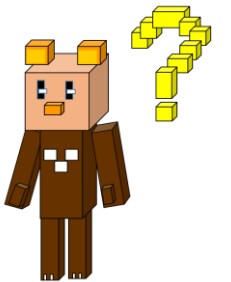
〔日本で地震がよく起きる要因〕

自然災害が起こる原因はいくつかありますが，日本は地震が多い地域です。その理由としては，日本の近くにはプレートがいくつかあり，動きが活発であることがあげられるでしょう。

その他の自然災害も日本で多く発生するのには，地理的な理由が関係しています。

考えてみよう！

自然災害を防ぐための取り組みはどのようなことが行われているか。また，発生したときにはどうしたらいいかを考えてみましょう。



〔自然災害を防ぐための取り組み〕

- ・ダム，堤防，砂防ダム，都市の地下調節池の設置
- ・火山の噴火や地震発生の危険度予測に関する研究

など

〔自然災害が発生したとき〕

市町村により防災マップ（ハザードマップ）が作成されています。自然災害による被害の予測とともに避難場所や防災関連施設などの情報がのせられています。災害によって，避難場所が変わることがあるので，事前に確認しておきましょう。

最後に

復習・予習として、しっかり教科書の内容をまとめておきましょう。
特に分からない用語やあいまいな言葉などは自分の力で調べることも大切です。今のうちに知識を増やしておきましょう。

引用・参考

- 「新しい社会 地理」 東京書籍 (教科書)
- 「データブック オブ・ザ・ワールド」 二宮書店
- 「日本国勢図会」 公益財団法人 矢野恒太記念会
- 「地理用語事典」 正進社
- 「地理用語集」 山川出版社
- 「学研キッズネット 辞典」 Gakken (<https://kids.gakken.co.jp>)